

3月の東日本大震災、また5月には公益社団法人格取得と激動の一年となった2011年。総務委員会として、個人と組織の双方が最大限に力を発揮できるよう、委員会の垣根を越えた協力体制の構築を目的とし活動してきました。

理事会や総会など核となる諸会議においては、会議開始前の事前準備、および会議終了後の事後フォローが重要だと考え会議運営を行いました。参加するメンバー一人ひとりの自覚と前向きに取り組む姿勢により生産的な会議が進められたと思っております。

一方、メンバー相互の情報共有の充実を図るために取り入れたエンジェルタッチが上手く機能せず、新しい事を始める事の難しさを痛感いたしました。私の説明が足りず、欠点ばかりがクローズアップされ、利点をしっかりと伝える事ができず、メンバーの皆様に変ご迷惑をおかけしました事、深く反省しております。また、地域の皆様への情報発信も十分とはいえず、ホームページ等には多くの課題を残してしまったと感じております。

また、公益社団法人格取得による様々な変更点については、OBの皆様にも多くの点を助けていただきました。私自身ゼロからのスタートでしたが、丁寧にご説明いただき、また、間違っている時にはしっかりとご指摘をいただきました。OBの皆様のお力添えがなければ、私を含め委員会メンバーも乗り切れなかったと思います。本当にありがとうございました。

最後に、総務委員長という重責を任せていただき、私自身、とても実り多き一年となりました。委員会メンバー、理事メンバーの皆様には、ご迷惑、ご心配を多々おかけしましたが、皆様のご協力により何とか一年間つとめる事ができました。ありがとうございました。また、高梨専務、大塚財務兼事務局長には、多くの点助けていただき、本当にありがとうございました。そして、あらゆる面からサポートして下さったLOMメンバーの皆様にも心より御礼申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。